
アリスらと、見えない人間

明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アリスらと、見えない人間

【ISBNコード】

N3977M

【作者名】

明

【あらすじ】

アリスたちと見えない人間たちの関係性。

(前書き)

詩。
数分で書きました。

仲間のいない君の小箱には

センチメンタルのナルシズムとトラウマが入つて。
開かれた暗喩の箱しか、しがみつけられなかつた。
最後の誰も踏み込めない未開の土地があつたんだ。

君は不幸せで、

私が、私が狂いたくないための、
どうしようもなくなる前の自分の土地。
そこで鏡の人形に人の名を与えていく。

ただ、人々は君の人形を欲しがつた。
群れの中の彼らが土地を踏みにじる。
群の中の彼らは君の真似。

弱い者のふりをしていく、彼らは未完成な役者。
人としての自由の権利と、泣いた。

彼らは君には

ぼくらと同じようにしてほしい、
ぼくたちと共感できるだろうと語りかけていく。

君だけはどうしようもなくなつて、

彼らのペットよりも人じやなかつたのを知つて
多くの人が君をいないように

ただ、ひたすら見えない人間として振舞つてた。

土地はいつの間にか失っていた。

そうしたとき、彼は完璧な役者で、多くの人のものを誰も気づかないように奪つた。

社会に穴が生まれ、

多くの人は穴に落ちようと/orして、しかし、ルイスが書いたように、精気の匂いの穴にしか落ちません。

彼らは完璧なアリスだった。

君は、だからアリスじゃなかつたんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3977m/>

アリスらと、見えない人間

2010年10月11日00時52分発行